

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

## 報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成27年 6月20日（土）～ 6月21日（日）
場 所	大阪市（大阪弥生会館）
目 的	平成27年度関西地区湯前ふるさと会

報 告 の 内 容	<p><b>1. 幹事会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席者（9名） 西靖邦会長、蔵座益男副会長、深水輝雄事務局長、古賀広文事務局長補佐、谷山学幹事、松山武昭幹事、村井信俊幹事、佐々木智恵子監事、事務局：岩野</li> <li>・会計監査と来年以降の方針、新体制、今後の活動方針などについて協議された。</li> <li>・次回の総会開催日は、平成28年6月18日（土）に決定。 会場は、「ホテルサンルート梅田」（大阪市北区豊崎3丁目9-1）に変更。 現在の「大阪弥生会館」は、今年9月末に閉館。</li> <li>・役員改選で、新会長に蔵座益男氏、副会長に古賀広文氏、事務局長補佐に久保田博氏が新役員として提案された。 2年に一度の役員改選の年ではなかったが、西会長が来年3月の帰郷に伴い会長職を退かれるため、役員改選が行われた。</li> </ul> <p>&lt;主な意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会費8,000円が高額という意見が以前よりある。 長時間（12時～17時）に渡り親睦を図れる点で、会員に理解を求める。</li> <li>・本会の通帳名義人が初代会長の故・田山榮作氏のままになっていた。 事務局長の深水輝雄氏から提案があり、事務局長名義に変更する提案が承認された。</li> </ul>
-----------------------	---

- ・近年少しずつ新規会員の確保が進んでいるが、未だに本会の存在を知らない出身者が多い。町職員に呼びかけて、個人的な知り合いや同級生の情報を提供いただき、輪を広げていきたい。

## 2. 総会・懇親会

- ・出席者（28名）

鶴田町長、産業振興課：椎葉泰裕参事・岩野係長、椎葉弘樹（本人）  
（株）紅中：中村会長・池永西部営業部長、SSDプロジェクト：渡邊氏

- ・今回は、総会案内通知を84名に郵送し、返信は37通。  
会員出席者数は、21名（昨年より1名減）。
- ・会員総数は、昨年より2名減の32名。  
このうち初参加は、30代3名、60代1名の計4名。
- ・第1号議案から第5号議案まですべて承認。  
新役員の紹介、初参加者の紹介が行われた。
- ・役場職員による湯前町の紹介スライドが上映された。
- ・今回、（株）紅中とSSDプロジェクトからもご出席いただき、SSDプロジェクトの紹介、球磨産材を使った関西地区の事業展開についてPRしていただいた。
- ・総会終了後に行われた懇親会では、恒例となったビンゴゲームが行われ、湯前町から景品として、焼酎などの特産品を提供。
- ・会場で湯前町観光物産協会の物産品販売を行った。  
焼酎販売ができなくなったことで、例年よりも売れ行きは不調。



### 3. 所感

- ・町外にお住まいの方々は、湯前町に対するいろいろな想いや考えを持たれている。

これらのご意見を町づくり・町おこしに活かせれば、もっと面白い展開ができる。

- ・今回、新しい会員4名（うち3名が30代）は明るい兆し。

それでも会員総数は2名減少ということで、更なる会員数の拡大に努めなければならない。特に、ふるさと会員を知らない方がたくさんいる。

- ・ふるさと会は、開催することが目的になっているようにも感じる。



#### <今後、ふるさと会に期待すること>

- インターネット等を活用した会員数の拡大

※湯前町出身者のネットワーク（絆）づくり

- ふるさと会と今後取り組まれる「ふるさと納税」「ネット通販」の連動

